

若い歯科医師のための OP セミナー、チームミーティングを経て、今回マルメでの研修に参加させていただく機会を得ました。

今回の参加者は100名ほどで、若い世代の先生方や衛生士さんが多くいらしたので、熊谷先生が信念と情熱を持って突き進まれてきた医療哲学への大きな波がきているのだと感激しました。また、マルメ大学は夏休みにも関わらず、講師陣の手厚い歓迎にはこれまで熊谷先生が築き上げられてこられた時間の重みをひしひしと感じるものでした。

研修を経て一番感じたことは、国による保険制度や医療システムの違いが患者教育に大きく影響するということです。予防大国といわれるスウェーデンの歯科医療システムは、未来を見据えたエビデンスベースの歯科医療として真の価値のある哲学を持った医療人の努力の積み重ねによる賜物なのではないかと思いました。

ダンエリクソン教授のユーモアを交えた引き込まれるお話には、時間が経つのも忘れて集中して講義を受けることができました。患者やスタッフを巻き込んでより良いものを提示していくためにはやはり柔軟性とユーモアも必要だと実感しました。

本質にぶれることなく、かつ柔軟に対応し、哲学を学び理解し尊重する歯科医療に従事する者一人一人の積み重ねが、最終的には患者のためになりそして日本として国レベルでの歯科医療のあり方を変化させていくことに繋がるのだと思いました。そして歯科医師たるもの科学者としても、日々の臨床の中でデータを蓄積させ分析していく必要性、自分なりに哲学を裏付けるものを持たなければと思いました。

私たちは、国民の健康を守る権利も義務もあり、それが資格を得た者の責務でありまた希望や楽しみ、そして豊かな人生を送っていくことになるのではないかと感じました。

この場を借りてマルメ研修の成功に従事してくださった全ての方、参加する機会を与えてくださったスタッフの皆さん、家族に感謝申し上げます。ありがとうございました。